

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	風しん感染予防対策	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局 健康部 保健所 部 感染症対策 課	評価責任者(課長名)			中井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	全国的な風しんの大流行の中、大阪府の「緊急事態宣言」を受け、出生児の先天性風しん症候群の発生防止のため、平成26年度から妊娠を希望する者等への風しん予防接種費用助成を実施。その後、国通知に基づき、事前の風しん抗体検査を行い、十分な免疫がない方に風しん予防接種の助成を実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	妊娠を希望する女性及びその同居者、妊婦の同居者		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	・妊娠を希望する者等に対して風しん予防接種費用の助成を行うことで、妊娠初期の女性の風しんの罹患を予防し、出生児の先天性風しん症候群の発生の防止を目的とする。また、事前の風しん抗体検査により、予防接種の必要性の低い方への予防接種による健康被害のリスクを回避するとともに、その予防接種にかかる助成費用の軽減を目的とする。 ・昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査及び風しん第5期予防接種(抗体が基準値に満たない者のみ)を実施する。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	風しんの抗体価が低い者を抽出するための抗体検査を保健センターにて実施する。また、抗体検査の結果、抗体価の低い者に対し、予防接種費用の一部を助成する。 1. 風しん抗体検査 風しんの抗体価が不明な者が保健センターにて抗体検査を受ける費用を全額公費負担する。 2. 風しん予防接種費用助成 風しん抗体検査で抗体価が低いことが判明した者に対し、医療機関で実施する風しん予防接種費用の一部を助成する。		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般社団法人 堺市医師会ほか、妊娠を希望する女性等			

Ⅲ. 投入量

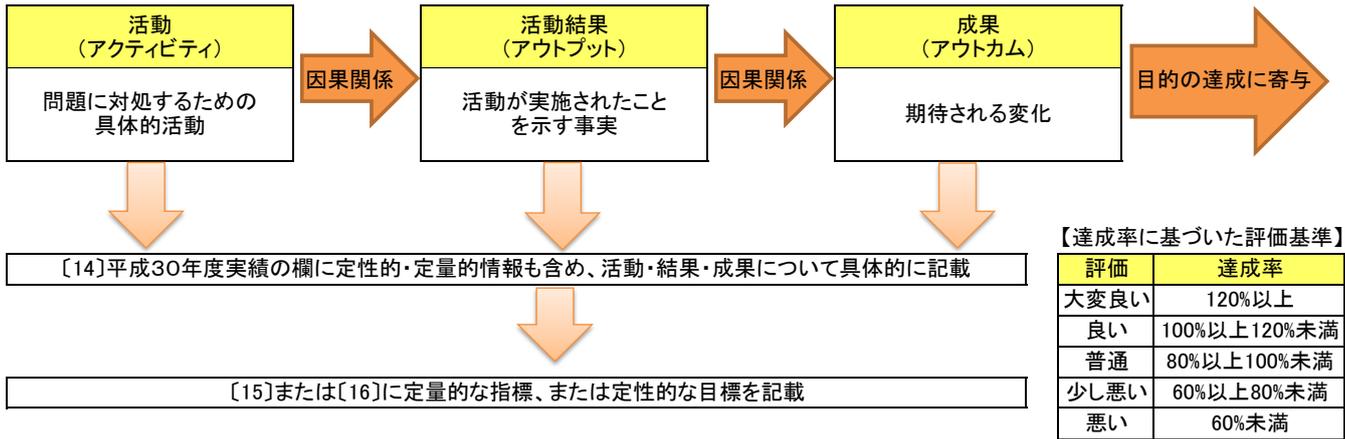
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	8,601	8,508	16,730	9,954	
主な事業費内訳	委託料	千円	7,374	7,479	14,324	8,496
	役務費	千円	770	716	1,617	599
	その他(補助金等)	千円	393	313	790	859
	国・府支出金	千円	3,815	4,170	6,487	4,975
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
財源内訳	市債	千円				
	その他()	千円				
	一般財源	千円	4,786	4,338	10,243	4,979
12 人件費 (b)	千円	4,182	4,100	4,920	9,080	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	12,783	12,608	21,650	19,034	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	風しん感染予防対策	シート番号	11-232
-------	-----------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>個人予防として妊娠希望女性、その同居者及び妊婦の同居者に対し、市内各保健センターの一般健康相談や感染症対策課が実施する臨時風しん抗体検査において抗体検査を行い、計3,728人が受検した。妊娠を希望する女性とその配偶者、妊婦の配偶者で、接種日より5年以内の風しん抗体検査の結果が基準値に満たない方に対し、風しん予防接種(麻しん風しん混合ワクチンまたは風しん単抗原ワクチン)の費用を助成し、助成件数は2,070件であった。</p> <p>また、30代～50代男性を中心に風しん患者数が増加している状況を受け、平成31年2月1日付で、予防接種法施行令及び予防接種法施行規則が改正された。この改正の概要としては、集団予防として、風しんの抗体価が低いとされる昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性で風しんの抗体がない者を対象に、平成31年2月上旬から平成34年3月31日までの間に限り、風しんに係る定期の予防接種の対象者として追加することを規定するものである。</p> <p>この改正に基づき、平成31年3月より市内契約医療機関にて、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に風しんの抗体検査を行い、抗体が基準値に満たない者に対し風しんの第5期予防接種を行う体制を整えた。</p>							
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		風しん予防接種費用助成件数【個人予防(接触予防)】	人	目標値	833	833	1,239	1,341
				実績値	1,182	1,164	2,070	
				達成率	142%	140%	167%	
	評価	大変良い	大変良い	大変良い				
	算出方法・設定根拠など		具体的な成果を数値化することは困難であるため、年度当初に見込んだ最大件数を目標値とする。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		風しん抗体検査受検者数【個人予防(接触予防)】	人	目標値	826	826	1,060	1,368
				実績値	1,033	820	3,728	
				達成率	125%	99%	352%	
	評価	大変良い	普通	大変良い				
	算出方法・設定根拠など		具体的な成果を数値化することは困難であるため、年度当初に見込んだ最大件数を目標値とする。					

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>本事業は平成25年度の全国的な風しんのまん延の中、特に子どもの先天性風しん症候群の発生を防止するために実施してきた。本事業開始当時から年々費用助成件数は毎年約1,000～2,000人が風しん予防接種費用助成を利用され、その間に先天性風しん症候群の発生届がないことから、本事業の有効性は高いと考える。</p> <p>平成30年度の風しんの流行を受け、新たに成人男性に対する集団予防を行うため、予防接種法施行令及び予防接種法施行規則が改正された。また平成30年度をもって満了する予定であった大阪府風しんワクチン等接種事業費補助金交付要綱が平成31年度も継続されることになった。</p> <p>本市においても平成30年度は、関東地域での風しんの流行を受けて抗体検査の受検希望者が大幅に増えた。</p> <p>今回の流行により平成31年度より新規事業として成人男性の追加的風しん対策が始まることもあり、今後さらに市民の関心が高まることが想定されるため、保健センターと連携しながら事業を実施し、合わせて市民への周知・啓発を行う。</p>
----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。